



あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

令和6年の新しい年が明けました。しかし、元旦から2日にかけてのニュースは心が痛むものばかりでした。石川県能登を中心とする大地震と津波による甚大な被害、旅客機と航空機の滑走路上で衝突事故。こちらの方でも地震の揺れを感じましたが、皆様方の中には被災地や被害にあわれた方等にご関係のある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。心からお見舞い申し上げます。

9日(火)に三学期がスタートしました。大荷物をもって登園して元気よく挨拶をし、久しぶりの保育室へ入って行きました。どのクラスも回ってみると、身の回りの始末を覚えていて自分でしたり、友達や先生に会えた嬉しさで笑顔一杯だったり、早速持ってきたコマや準備してあったスゴロクなどで遊び始めたり、と賑やかな雰囲気でした。その後、始業式を行いました。全員が黄色の制服を着てピンと背中を伸ばして並ぶ姿からは、『始業式って大事な式』と幼児なりに感じていることが伺えました。始業式で私が子ども達に話したことは三つ!

・今年辰年。何かに『新しいことを始めて成功する年』と書いてありました。諸説はあるでしょうが、良い言い伝えを信じて、「自分のやりたいこと、できるようになりたいことに挑戦してみましょう」と話しました。

・冒頭にも書いたように災害の恐ろしさを新年早々感じました。ニュースの映像があまりに凄惨なので、子ども達に話すべきかどうか迷いましたが、災害はいつ、どこで起こるか分からないことを踏まえ、大地震が起こったことと滑走路での衝突事故のことを話しました。すると子ども達は真剣な顔をして、「テレビ見た!大変だ」「家にいて地震で揺れた。怖かった」・・・と口々に話し出しました。そこで、「地震や火事は、いつ、どこで起こるかわかりません。家ではおうちの人の言うことを、幼稚園では先生の言うことをしっかり聞いて、自分の命を守るようにしましょう」と伝えました。とても神秘的な顔で聞いていて、小さい子どもなりに今回の大地震や事故の大変さや怖さ、悲しさなどを心で感じ取っていたのだと思いました。

・最後は、「気持ちの良い生活をしましょう」と話しました。ピンときていなかったで「気持ちの良い生活ってどんなことだと思う?」と尋ねると、多くの子どもが「掃除をして部屋をきれいにする」「お片づけをする」といった身の回りの整頓についての答えが返ってきました。もちろんこれも大事な「気持ちの良い生活」の第一歩ですが、始業式の場ではこれ以上答えが出てこなかったで、クラスでも話し合ってみましょう、と言いました。始業式後、各クラスを回ってみると、年長・年中児は早速「気持ちの良い生活」について考えていました。年長児は掃除や片付けのほかに『体を動かす』『難しいことも頑張る』『困っている人がいたら自分から声をかけてみる』『みんながニコニコできるようにする』といった、意欲や相手のことを考えることも「気持ちの良さ」につながることに気付いていました。年中児は、「おはようって言うと気持ちがいいよ」「今朝おはようって言った時、おはようって友達が言ってくれて気持ちよかった」と、挨拶を交わすことが気持ちの良い生活につながることを実感していました。年少組では「さっきの話、難しかった」という子ども達に担任が、「先生や友達の話を聞いたり、順番を守ったりすることも気持ちがいいことだよ」と伝えました。「そうか」と納得した子ども達は静かに担任の話を聞き、『みんなの約束事を守ると気持ちがいい』ということを行動できつつあります。自分もまわりの人も『気持ちがいい』と感じる生活を心がけることは、集団生活・社会生活を送るうえでの基本ではないでしょうか。もちろん、トラブルがあって悲しくなったり、悔しさや怒りなど葛藤したりすることも多いと思います。それも大事な経験です。それも含めて最終的に「気持ちがいい生活」ができるようになると素敵ですね。



友達と一緒に手回しゴマを楽しむ年少児



自分で提出物や持ち物の始末をする年中児



気持ちの良い生活について話し合う年長児

4年ぶりのお茶会をしました

1月11日(木)に三斎流の森山さんを講師に招き、楽園クラブの皆さんにお手伝いをしていただいて、年長児のお茶会を行いました。森山先生から、立ち方・座り方・歩き方などの立ち居振る舞いを教えていただいた後、実際にお茶をたてたり、お菓子やお茶のお運びをしたりしました。普段と違う雰囲気と所作に緊張した面持ちでしたが、一生懸命取り組みましたよ。30日(火)には2回目のお茶会があり、年長児がお運びをしたり、年中・年少児がお客さんになってお茶をいただいたりします。日本の文化であるお茶の世界に触れる良い体験になるとと思います。

